

地域交流型サロンをオープン

フラットエージェンシー

内覧会に地域住民ら400名以上が来場



フラットエージェンシー
(京都府京都市)
吉田光一社長(63)

フラットエージェンシー

(京都府京都市)は、1月8日に地域交流サロン「TAMARIBA」(たまりば)を開設した。「TAMARIBA」とは、同社が企画した、地域住民同士が交流することのできるコミュニケーションスペースだ。

同社の本部機能の移転を機会に、京都市北区にある本社からワンプロックほど離れた場所のビルの2階を同社の事務所にし、建物の1階部分100坪にカフェや理容室な

どが入ったサロンをつくった。

昨年12月24・25の2日間には内覧会を行い、同社のオーナーや、関係者、地域の住民など参加者は400名を超えた。カフェでは、地域の食材を生かした菓子などを地元企業のと商品開発し提供。図書コーナーやキッズコーナーも設置し、多世代が混じって談話ができる



▶「TAMARIBA」の外観

空間だ。多目的スペースでは展示会やセミナー、上映会なども順次行っていくという。住まいの相談スペースでは、今まで蓄積した知識や経験を生かし不動産に関するあらゆる相談に経験豊富な有資格者が対応する。

吉田光一社長は「地元で生活する人たちの『コミュニティ形成』が私たち不動産会社の使命。地域をよく知った私たちだからこそできる『住まいのよろず相談役』でありたいとの思いから開設準備を進めて来ましたが」と語った。



◀広々としたカフェスペース